

元気いっぱい



よしやま りひと
吉山 理仁くん
(10歳・馬場楠)

- 趣味
ゲーム
- 得意なこと
サッカー
- 今一番行きたいところ
スペイン・アルゼンチン
- 友達に伝えたいこと
いつも遊んでくれてありがとう

菊陽人 りさーち



掲載を希望する人は、はがきか電子メールに「氏名」「年齢」「住所」「連絡先(昼間)」を明記し、〒869-1192 菊陽町役場総合政策課 sogoseisaku@town.kikuyo.lg.jp までお送りください。
注) 掲載対象は、小学生以上で菊陽町に居住している人に限ります。親子、祖父母と孫など2人1組での掲載もできます。掲載が決まりましたら、こちらからご連絡します。



まつの まなと
松野 真那斗くん
(10歳・道明)

- 将来の夢
テニス選手
- 得意な科目
体育
- 今一番やりたいこと
世界を周りたく
- 家族に伝えたいこと
いつもゲームを買ってくれてありがとう

運動神経が抜群

人権のひろば

子どもの目、子どもの声
人権
作文シリーズ
【No.69】

問い合わせ
人権教育・啓発課
☎(232)2113

◇印からの文章は、先生のコメントです。
◆人権啓発標語
「いじめをなくそう いえいえ、いじめが無いのはあたり前」 菊陽中学校 3年 大田黒 奈那

人権ってなあに シリーズ⑦

お父さんやお母さん、兄弟、友達と一生涯離ればなれにされた人たちがいます。いつ病気になるか分からないからと、心待ちにしていた小学校の入学を反対された子どもたちがいます。好きな人と結婚して赤ちゃんを授かって、産んであげることのできなかつたお母さんたちがいます。わが子を抱っこしてあげることができなかつたお父さんたちがいます。人生の貴重な時間を、いわれのない差別や偏見に苦しめられてきた人たちが大勢います。

ハンセン病患者・元患者が受けてきたこれらのことは「ハンセン病は怖い病気、うつりやすい病気」と間違った知識を人々の心に深く根付かせた「無らい県運動」が原因です。

(熊本県「無らい県運動」検証委員会 報告書概要版より)

●ハンセン病とはどんな病気？
ハンセン病は「らい菌」で起こる感染症です。手足や顔などの外見の変化や知覚障害、発汗障害などを引き起こします。らい菌は感染力が非常に弱く、抵抗力が弱い乳幼児期にたくさんの菌に濃厚に触れない限り、日常生活で感染することはほとんどないとされてきました。しかし実際には感染経路が不明な元患者も多いのです。感染し、発病するかもしれないか、自己免疫力の強さで決定するともいわれています。感染しても発病することはまれで、発病しても早期発見と適切な治療を行えば確実に治ります。
ハンセン病は紀元前からある病気です。中世では「天刑病」や「業病」とされ、

近代では、治療薬・プロミンが開発されて治る病気になってからも「無らい県運動」で遺伝病や伝染病であると広まりました。このような間違った知識と国が主導した強制隔離政策で、ハンセン病は怖い病気、うつりやすい病気、というイメージが出来上がってしまいました。それにより、ハンセン病患者・元患者は長年、いわれのない差別や偏見、重大な人権侵害に苦しめられてきました。

●「無らい県運動」とは
官民を挙げて全てのハンセン病患者を隔離し療養所に強制収容した運動です。ハンセン病患者に対する根強い差別・偏見を助長しました。日本のハンセン病対策は病気の撲滅が目的ではなく、患者の絶滅を目指したものでした。

●私たちにできる、少しいこと
私たちの周りにはインフルエンザやエイズなどさまざまな感染症があります。いつどこでかかるか分かりません。誰でも患者やその家族になる可能性があります。「自分や家族がその人だったら……」という意識で日々の生活を見直してみよう。誤った知識や偏見、無責任なうわさ話で人権を侵害してはいけません。

「犬が死んだ」日記より

菊陽南小学校 3年 桑住 悠矢
今日、うちの犬のライトが死にました。朝いつも通りに学校へ行こうとして、ドアの前にライト(ライ)ちゃんはまだ生きていたのを声かけました。でもはんのうはなく、ねていました。お母さんが「まだねているのはおかしい」と言い、近づ



▲仲間とともに

きました。声をかけながら近づきました。近づくと、ライが死んだ、という気持ちが出てきました。お母さんが目のあたりを見ると、目を開けてライは死んでいました。
ぼくは、学校に行きました。学校で、まゆさんともう一人にライちゃんが死んだことを言いました。みんなに言ったらテンションが下がると思ったからです。ぼくが学校から帰ったら、ライのすがたはどこをさがしてもありませんでした。そこで、お母さんに電話して聞くと、「もつ、うめた」と言いました。ぼくはショックでした。もう一度ライちゃんの姿を見たいです。
今、この日記を書いています。ぼくは、初めてこういう体験をしました。一回ひいじいちゃんがなくなった時があったけど、その時は4歳くらいだったから、まだそういう気持ちが分かりませんでした。

ぼくは、ライのことをわすれません。そして、天国に行ったライにも、ぼくのことをわすれないで見守ってほしいです。

◇外遊び大好き、いつも笑顔で元気いっぱい
の悠矢さん。この悲しく辛い体験を、こうして日記につづることができました。大切な「命」にしっかりと向き合う一歩となったことは、間違いありません。

きくよう文芸

菊陽句会報

石路満開夕日の真中輝けり	井 子文	四姉妹昔を語る秋の宿	宮川ユキエ
艶と香も一緒に握り今年米	財津 早雪	忌を修し一息つきぬ草紅葉	日高 妙子
時雨るや父母との時間限りあり	原野レイ子	竹敷に夕日引き込む鳥瓜	曾我 育代
萱塚の二つ並びて日を纏ふ	カ 幸子	芋掘りや園児の瞳煌めけり	曾我トモ子
放られたる鉢の小菊のみごとなり	寺尾千代子	里深く陶土掲ぐ音水澄めり	紫藤 祥子
木の实落つ音や静寂を震はせて	高橋 孝子	小流れに遊ぶ水車の秋思かな	村上 朋子
新米を分つ悦び友在ます	福田 貴子	朝日さし鳥啄む前の実南天	藤本 純子
くれないの花にはあらではせ紅葉	佐藤 節	友も脱ぐ靴箱の前防寒着	佐藤 健
再会の話は尽きず暮早し	吉野 早苗	柿落葉虫喰ひ穴も模様なる	佐藤 澄世
家建つや秋夕焼に糍餅	井上久美子		

短歌会

支えたる娘の柔き手の温み幼き時と同じ温もり
光透す大型ハウスを建て始む春採りトマトの苗を移さむ
霧晴れて球磨の山なみ目に青くはるかに遠し冷水峠
菓の香をロールに巻き込みトラクターは刈田の中を駆けめぐりおり
一人来て赤き漆の葉に向けば山里の道冷え深くなりたり
夕暮れの空にび色の赤き月広縁にしばし魅せられし時
鉢植豆の野菜の花を描きつつ一筆ごとに思ひふくらむ
背を伸ばし手先に触れむものありもう少しのところで力尽きたり

今村 貞子
梅田 國雄
河北 幸一
佐藤せい子
中村トシエ
松岡富紀子
山川 カヅ
松本 東亜